

食品産業グローバル展開推進事業／ 海外展開における事業可能性調査・実証支援 事業報告書

(公開版)

2020年5月15日



株式会社えだまめ

- サマリー

- 事業の前提・全体像

- 海外現地企業からの投資依頼案件発掘

- 海外現地企業と日本企業とのマッチング

- 現状及び今後の展開

サマリー

• 実施事項概要

- 海外現地企業のニーズ把握のため、東南アジア諸国を中心としたメーカー・卸・小売・外食事業者のリストを公開情報から作成し、メールにてアンケートを送信した（9カ国2,158件）。
- 上記の海外現地ニーズアンケート結果を受け、日本企業側ニーズ把握のために日本国内事業者向けアンケートを実施した。
- その後、上記両アンケート結果を基に、海外及び日本側にてマッチングニーズが合致した具体事業者間でのビジネス組成を進めるため、海外現地企業に対する訪問・インタビューを実施。特にマッチング期待度の高かった、タイ・マレーシアの候補企業への訪問を実施した。

• 成果

- 具体案件組成：本事業を通じ、3件の具体的なマッチング事案を発掘した。
- 日本側：アンケートを通じて、海外協業に興味を持つ事業者リストを作成することができ、本事業に限らず、次年度以降も見据え、海外展開・投資を進めていく「仲間」を集めることができた。リストには、興味のある地域・具体ニーズ・海外協業の課題などが含まれ、効率的に今後のマッチングを進めていくことが可能だと考える。
- 海外側：日本との協業に興味を持つ事業者リストを作成することができ、上記と同様に、次年度以降を見据えた際に「仲間」を集めることができた。リストには、興味のあるテーマ・課題・具体ニーズ・具体事業者名などが含まれ、効率的に今後のマッチングを進めていくことが可能だと考える。

• 今後の課題・アクション

- 継続した具体案件の推進：上記のとおり具体的なマッチング事案として挙げた3件について引き続き定期的に案件の推進に向けたフォローを行い、海外投資促進の個別具体支援を実施していく。
- 他事業・組織との連携によるマッチング推進：本年度作成した上記日本企業リスト・海外企業リストを農林水産省やJETRO等の関係組織と連携することで、新規マッチング・海外投資案件の組成に向けて、継続的に個別企業へのアプローチを行っていく。
- 日本企業の課題解決にむけた取組の検討：本年度アンケート等の情報を通じて整理された日本企業の海外進出・協業に向けた課題について、日本政府としての解決手法案を議論。今後、効果的に実施すべき事項について引き続きの検討が必要。

- サマリー

- **事業の前提・全体像**

- 海外現地企業からの投資依頼案件発掘

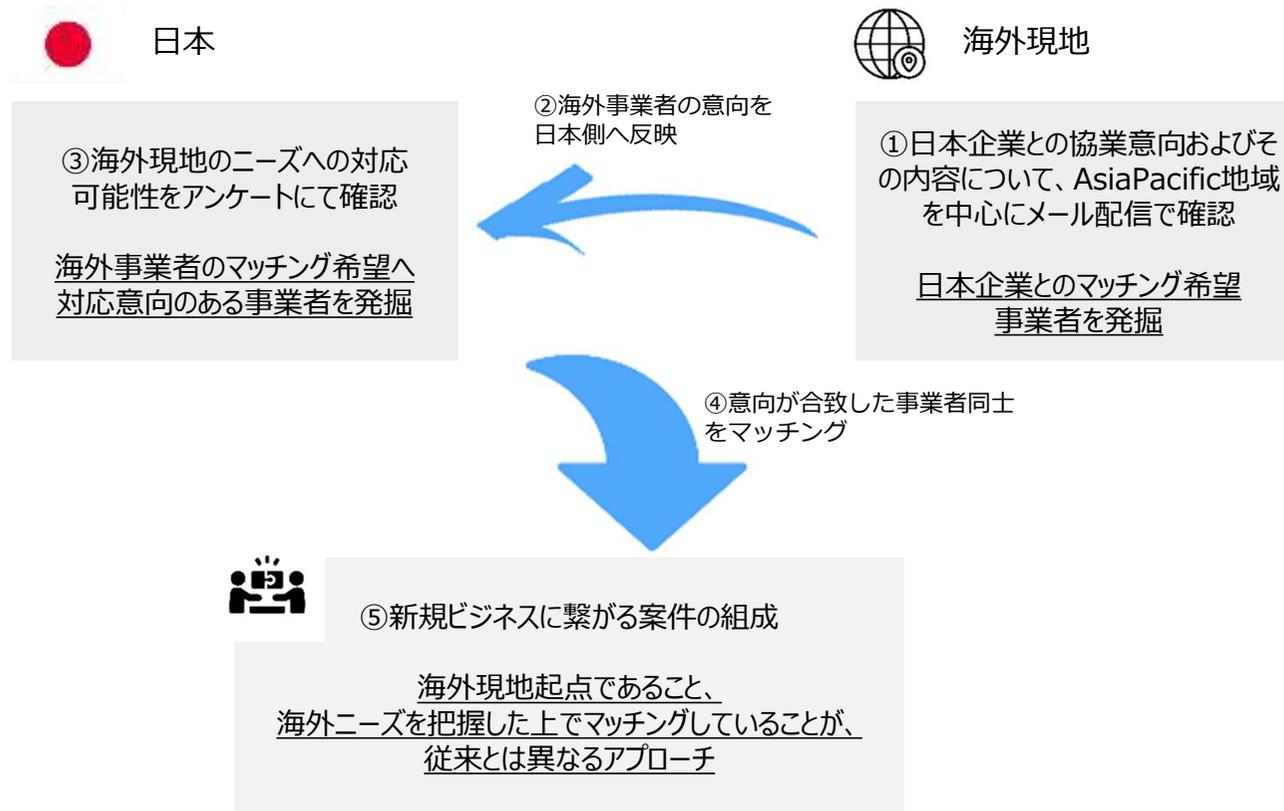
- 海外現地企業と日本企業とのマッチング

- 現状及び今後の展開

海外現地起点でのマッチングを志向し、事業の実施計画を立案

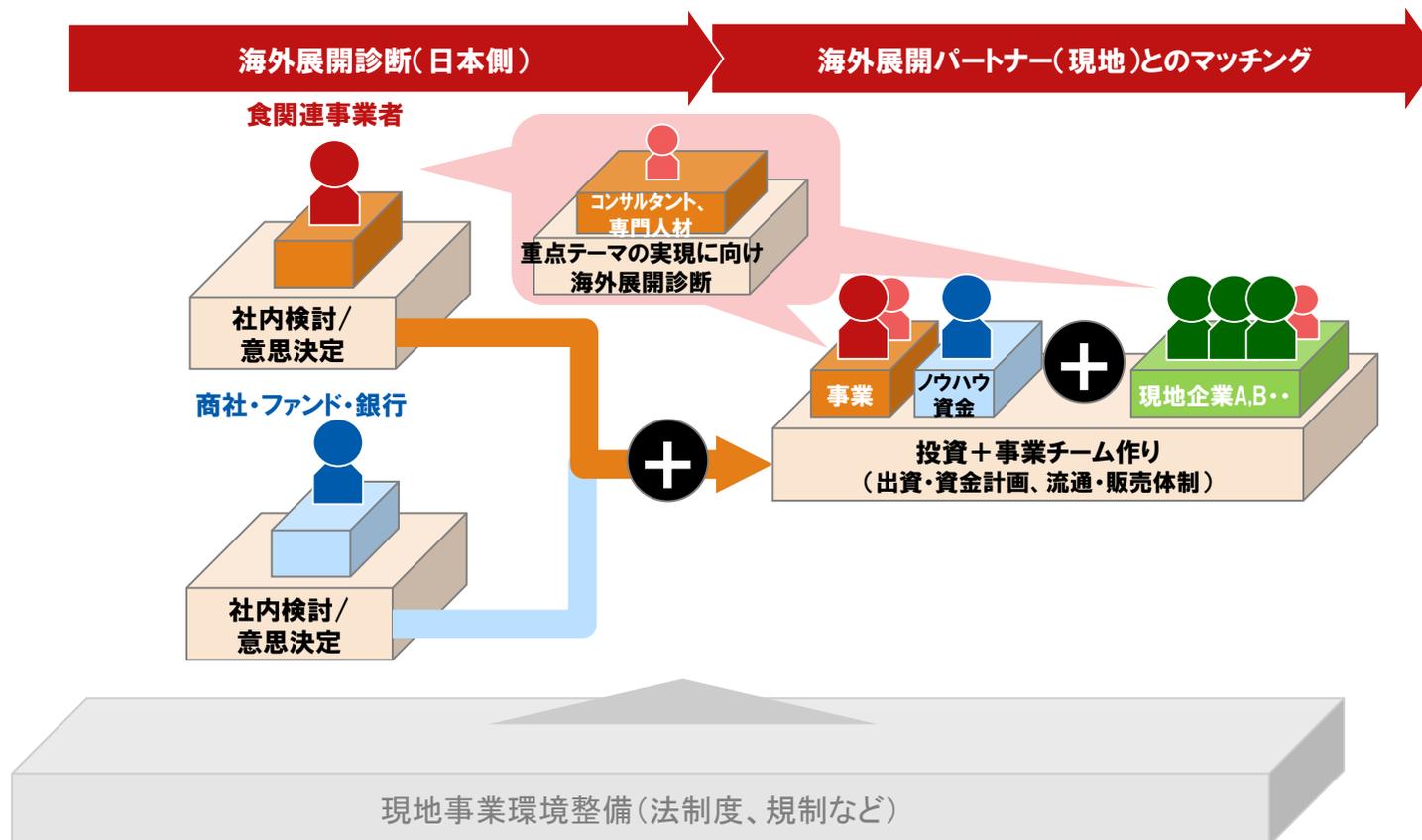
- 本事業の昨年度までの取り組みは、日本側の企業起点での案件組成・マッチングするというアプローチであった。
- 今年度の当社の取組では、日本側ではなく海外現地の需要を起点に案件を組成する、というアプローチで、事業を実施した。

本年度実施事業の全体像



参考) 2018年度は日本側事業者の海外展開意向を起点としたマッチングを実施

2018年度実施事業のイメージ



2019年7月から2019年年度末まで、大きく2テーマを実施

- 海外現地起点での投資ニーズ・シーズの掘り起こしを実施
- その後、上記海外現地の情報に基づき、日本企業へのアンケートを通じたマッチングを実施

実施事項		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 海外現地企業からの投資依頼案件発掘	海外企業への連絡先の整理	→								
	海外企業への一次コンタクト実施		→							
	海外企業が求める日本からの投資ニーズ確認			→	→					
	投資を求める海外企業一覧の作成			→	→					
2. 海外現地企業と日本企業とのマッチング、新規海外投資案件の投資実行	海外投資を目指す日系企業候補のリスティング				→	→				
	日系企業への海外投資に関する意向把握 (アンケート、個別訪問)					→	→			
	投資を求める海外企業に適した日系企業とのマッチング実施						→	→	→	→

- サマリー
- 事業の前提・全体像
- **海外現地企業からの投資依頼案件発掘**
- 海外現地企業と日本企業とのマッチング
- 現状及び今後の展開

海外企業向けアンケートは、9カ国2,158件に対して送付

- 企業DBから、下記対象業種（メーカー・卸・小売・外食）の企業のリストを作成
- 各企業のWebサイト検索から連絡先を把握。メールの一斉送信をかけ、アンケートを実施
- 海外企業からのアンケート返信は、計33件。返答率約1.5%であった

行ラベル	メーカー	卸	小売・外食	総計
Australia	297	225	188	710
Cambodia	20	4	2	26
Indonesia	113	37	44	194
Malaysia	175	98	89	362
Myanmar	21		3	24
NewZealand	98	70	104	272
Philippines	65	23	61	149
Thailand	98	73	53	224
Vietnam	109	38	50	197
総計	996	568	594	2,158

アンケート回答をいただいた海外企業概要

Malee Group Public Company Limited (タイ)

(所在地) 401/1 Phaholyothin Road, Lam Luk Ka, Pathumthani 12130, Thailand



(事業内容) Maleeブランドを展開するフルーツ缶詰、飲料メーカー。
同社ブランド製品の日本展開に関心。

・以下の写真、画像は同社2019アニュアルレポート (<http://malee.listedcompany.com/misc/AR/20200402-malee-ar2019-en.pdf>)より引用, 2020.1.31閲覧



▲製品群



▲製造工場



▲パッキングライン

CENTRAL DISTRIBUTION & AGENCY (KL) SDN BHD (マレーシア)

(所在地) 2 &4,Jalan TPP 5/13,
Taman Perindustrian Puchong Seksyen 5,
47100 Puchong, Selangor,
Malaysia.

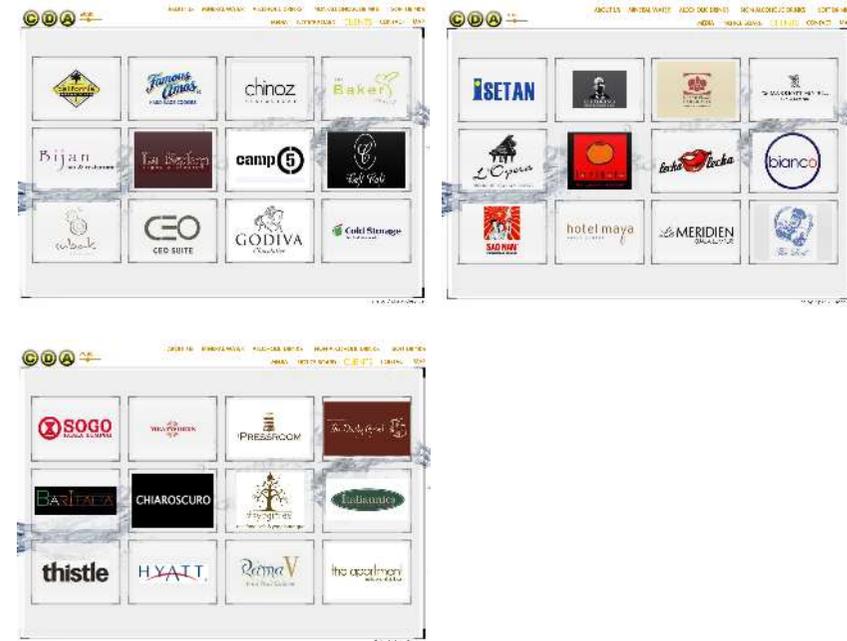


(事業内容) ジン、ウイスキー、ミネラルウォーター、フルーツジュース等を輸入・販売する卸売業者。
主にクアラルンプールの高所得者層向け小売や外食事業者に対し販売している。
日本のジン、ウイスキーに関心。

・以下の写真、画像は同社ウェブサイト (<http://cdasb.com/>)より引用 ,2020.1.31閲覧



▲取扱商材 (抄)



▲取引先 (抄)

Soon Soon Group Malaysia (マレーシア)

(所在地) 2448 Lorong Perusahaan 2,
Prai Industrial Estate,
13600 Prai, Penang, Malaysia.
(SOON SOON OILMILLS SDN BHD / HEADQUARTERS)



SOON SOON GROUP

(事業内容) 穀物、油糧種子を加工し、食品原料および資料原料を製造する原材料メーカー。
日本への原料供給に関心。

・以下の写真、画像は同社ウェブサイト (<http://www.soonsoongroup.com/>)より引用,2020.1.31閲覧



▲同社の事業所（2拠点）

CAB Cakaran Corp.Bhd (マレーシア)

(所在地) Plot 21, Lorong Jelawat 4,
Seberang Jaya Industrial Park
Seberang Jaya, 13700 Perai, Penang,
Malaysia



(事業内容) 養鶏、肉製品、水産品を手掛けるマレーシアの大手食品事業者で、スーパーマーケットやファストフード店など小売事業も手掛けている。
開発・流通の協業パートナーに関心。

・以下の写真、画像は同社ウェブサイト (<https://www.cab.com.my/>) より引用,2020.1.31閲覧



▲養鶏場を運営



▲食肉加工商品群



▲水産事業では加工品の製造の他、
養殖事業にも進出を計画



▲現地でリテール事業を展開



▲店舗内部



▲ファストフード店

MYNEWS RETAIL SDN BHD (マレーシア)

(所在地) Lot No. 3, Jalan Teknologi 3/1
Taman Sains Selangor 1
Seksyen 3, PJU 5, Kota Damansara
47810 Petaling Jaya, Selangor
Malaysia



(事業内容) 現地にて500店舗以上を展開しているコンビニエンスストア「myNEWS.com」を運営する小売事業者で、日本企業と合弁会社を設立し中食を製造する工場を共同で運営している。日本ブランドの商材や新規事業に関心。

・以下の写真、画像は同社ウェブサイト (<http://www.mynews.com.my/>) より引用、2020.1.31閲覧



▲コンビニチェーン「myNEWS.com」



▲店内の様子



▲移動型店舗

PT Bamboe Indonesia (インドネシア)

(所在地) Jl. Kedinding Tengah II /
8A , Surabaya 60129
Jawa Timur
Indonesia

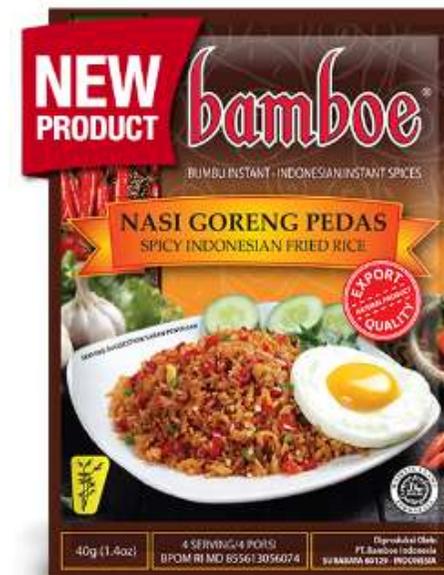


(事業内容) 調味料メーカー。主にインドネシア料理向けの調味料を製造している。
1968年創業。国内向けその他、オーストラリア、香港、北米などへの輸出も行っている。
商品開発による新たな販路開拓に関心。

・以下の写真、画像は同社ウェブサイト (<http://www.ptbamboe.com/>) より引用 ,2020.1.31閲覧



▲同社ウェブサイト



▲商品パッケージ

T.Thai Snack Foods (タイ)

(所在地) 45 หมู่ 3 ต.บางบัว, ถ.บางนา-ตราด กม.42 ,
บางปะกง ฉะเชิงเทรา 24180

(事業内容) スナック菓子を製造するバンコク郊外の菓子メーカー。
1996年創業。北米、アジア向けの輸出も行っている。
将来的な生産規模の拡大に関心。



・以下の写真、画像は同社ウェブサイト (<http://ftiebusiness.com/shop3/home.php?uid=46016>) より引用,2020.1.31閲覧



▲同社建屋／生産設備



▲主力商品「Mr. SQUID」

Robinsons Retail Holdings, Inc. (フィリピン)

(所在地) 110 E. Rodriguez, Jr. Avenue, Bagumbayan
Quezon City, Philippines 1110



(事業内容) JGサミットグループの小売部門。
三菱商事・イオンと提携しMINISTOPを展開中。

・以下の写真、画像は同社ウェブサイト (<http://www.robinsonsretailholdings.com.ph/>) より引用,2020.1.31閲覧



▲Robinsons Supermarket



▲同社が展開する小売事業 (FC含む)

AQUITY INTERNATIONAL LIMITED (ニュージーランド)

(所在地) 9/7 Henry Rose Place, Albany, Auckland

(事業内容) フレーバードロップス「VAITAL ZING」の販売を行う事業者。
日本向け販路の拡大に関心。

・以下の写真、画像は同社ウェブサイト (<https://aquity.co.nz/>) より引用 ,2020.1.31閲覧



▲同社商品

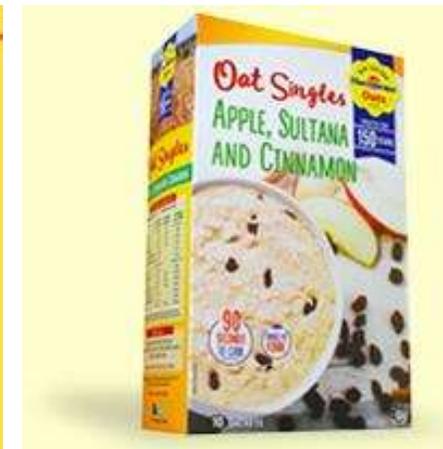
Harraways foods (ニュージーランド)

(所在地) PO Box 13040, Green Island Dunedin 9052



(事業内容) オート麦、ライ麦、大麦、小麦フレークなどの穀物製品、
朝食用シリアル製品製造販売。
日本向け販路に関心。

・以下の写真、画像は同社ウェブサイト (<https://www.harraways.co.nz/>) より引用,2020.1.31閲覧



▲同社商品

Prolife Foods Ltd (ニュージーランド)

(所在地) 100 Maui Street, Pukete, Hamilton 3200, New Zealand



(事業内容) 焼きバー、シートバー、押し出しバー等のバー状食品の製造販売。
その他、ナッツ、スナック、チョコなどの工場、および養蜂場を経営。
日本向け販路に関心。

・以下の写真、画像は同社ウェブサイト (<https://www.prolifefoods.co.nz/>) より引用, 2020.1.31閲覧



▲ 8つのブランドを展開



▲ 事業規模



▲ 日本国内で流通している同社製品 (マヌカハニー)

Norco Co-operative Ltd (オーストラリア)

(所在地) 'Windmill Grove', 107 Wilson Street South Lismore NSW 2480



(事業内容) オーストラリアの酪農協同組合。
メンバーファームの数は194。ミルク総摂取量195百万リットル。
ミルク、クリーム、アイス、チーズ、バターなどの乳製品を販売。
アイスクリームの日本向け販路に関心。

・以下の写真、画像は同社ウェブサイト (<https://www.norco.com.au/>) より引用,2020.1.31閲覧



▲同社製品

Greenstone Drinks Co Ltd (ニュージーランド)

(所在地) 情報なし



(事業内容) オーガニックの炭酸飲料、ティー等の製造販売。
日本向け販路に関心。

・以下の写真、画像は同社ウェブサイト (<http://www.greenstonedrinks.com/>) より引用,2020.1.31閲覧



▲同社製品

Wide Open Agriculture (オーストラリア)

(所在地) PO Box 243 Williams
West Australia 6391



(事業内容) 2015年創業の「Regenerative Farming」に取り組むスタートアップ企業。

大豆やトウモロコシなどを原料とする「人工飼料」を使わず、100%牧草で育てた牛肉、羊肉のブランドDIRTY CLEAN FOODをを展開している。

・以下の写真、画像は同社ウェブサイト (<https://www.wideopenagriculture.com.au/>) より引用,2020.1.31閲覧



▲同社のビジネスモデル



▲同社ブランド (DIRTY CLEAN FOOD) のブランド基準

- サマリー
- 事業の前提・全体像
- 海外現地企業からの投資依頼案件発掘
- **海外現地企業と日本企業とのマッチング**
- 現状及び今後の展開

海外アンケート結果をもとに、マッチングに興味のある日本国内事業者を探索

- 生産者（メーカー）・食品卸・小売・外食 それぞれ1,250社をリスト化
- リスト作成元は、企業データベース及び弊社所有の企業リスト
- 右の文面のとおり、ハガキでの送付及び、各種メールマガジンでのメール配信を実施

海外企業との協業に関するアンケートのお願い

回答用 Web ページ

<https://jp.surveymonkey.com/r/food201912>

農林水産省では、食品産業グローバル展開推進事業の実施にあたって、日本企業と海外現地企業との投資案件組成（例：現地企業とのJV組成、フランチャイズ展開等）・ビジネスマッチング支援（例：新規取引先開拓・新商品開発等）を進めております。この度、食品に関わる事業者様を対象に、海外企業との提携に関するアンケートを実施させていただくことといたしました。年末のお忙しい折に大変恐縮ですが是非ご協力いただけますと幸いです。

ご協力いただいた企業様には、下記のような支援をさせていただきます。

1. 海外企業をご紹介させていただきます

貴社の意向と、海外企業のニーズとがマッチングする場合に、貴社に対し海外企業を紹介させていただきます。

2. 希望者に対しては、実際のビジネスマッチング支援をさせていただきます

海外企業とのマッチングが成立した場合には、実際に該当企業との協業の場を設定させていただくなど、事業推進の支援をさせていただきます。

※現時点での海外企業からの協業依頼事項については、回答用 Web ページよりご確認ください。

【回答方法】

下記 URL の、アンケート回答用 Web ページからご回答ください。

設問数は 10 問、回答時間は 5 分程度です。

<https://jp.surveymonkey.com/r/food201912>

※実施期間の都合上インターネットのみでの実施となっております。大変申し訳ございません。

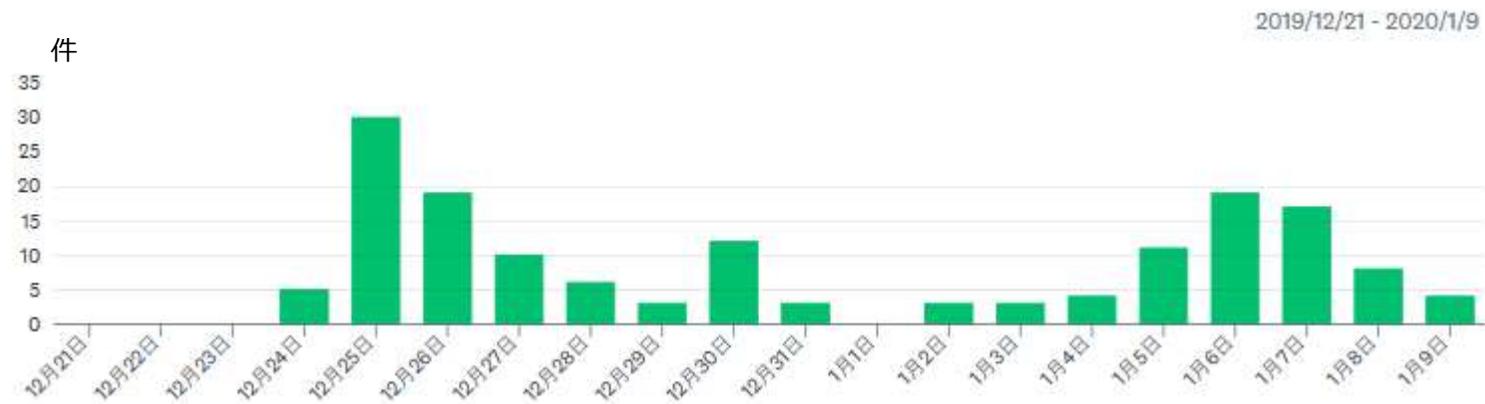
※調査結果は、本調査にのみ利用し、今後、貴様のビジネス拡大に向けた投資支援やマッチング支援に活用させていただきます。

【回答期間】2019年12月17日（火）～2020年1月17日（金）

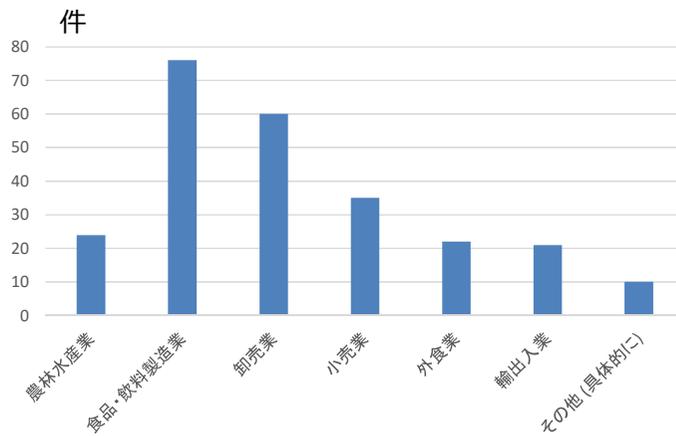
農林水産省

国内事業者向けアンケートでは、1月9日時点で157件の回答を得られた

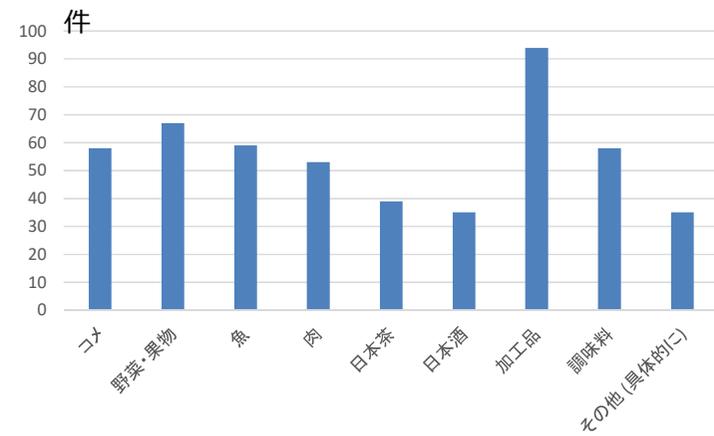
回答数の推移



回答者属性（業種）



回答者属性（関連商材）

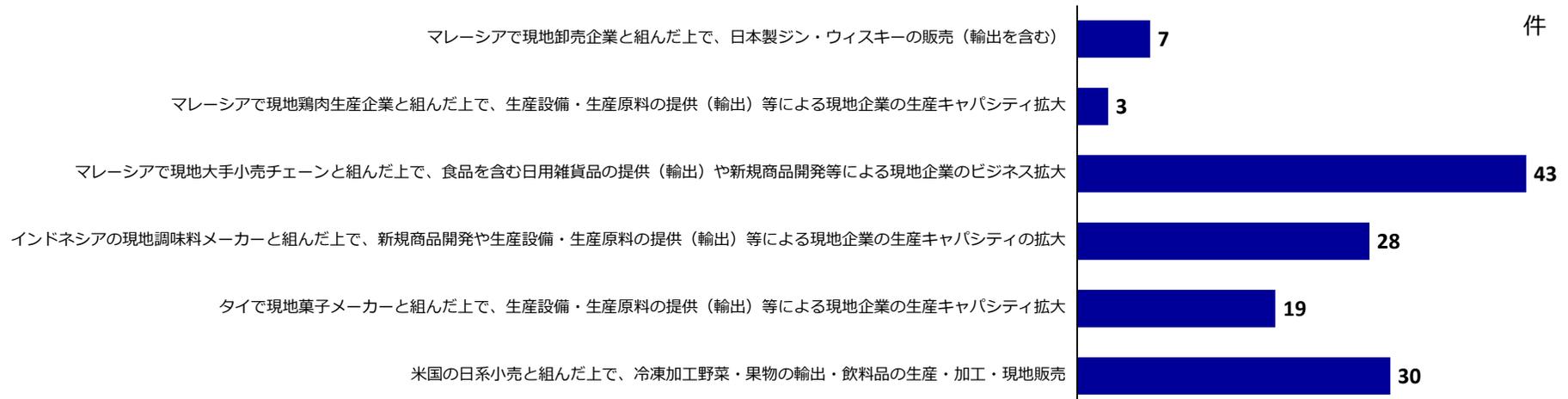


海外現地の小売・メーカーとの連携について興味をもっている事業者が多い

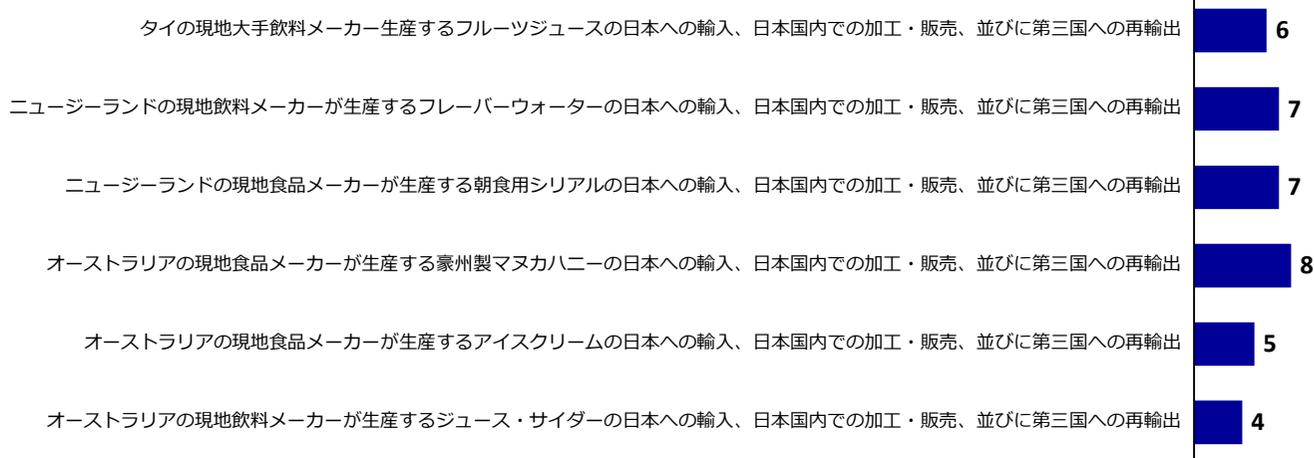
- 日本への商品輸入関連への興味は総じて低い

興味のある海外企業との協業について

日本から海外

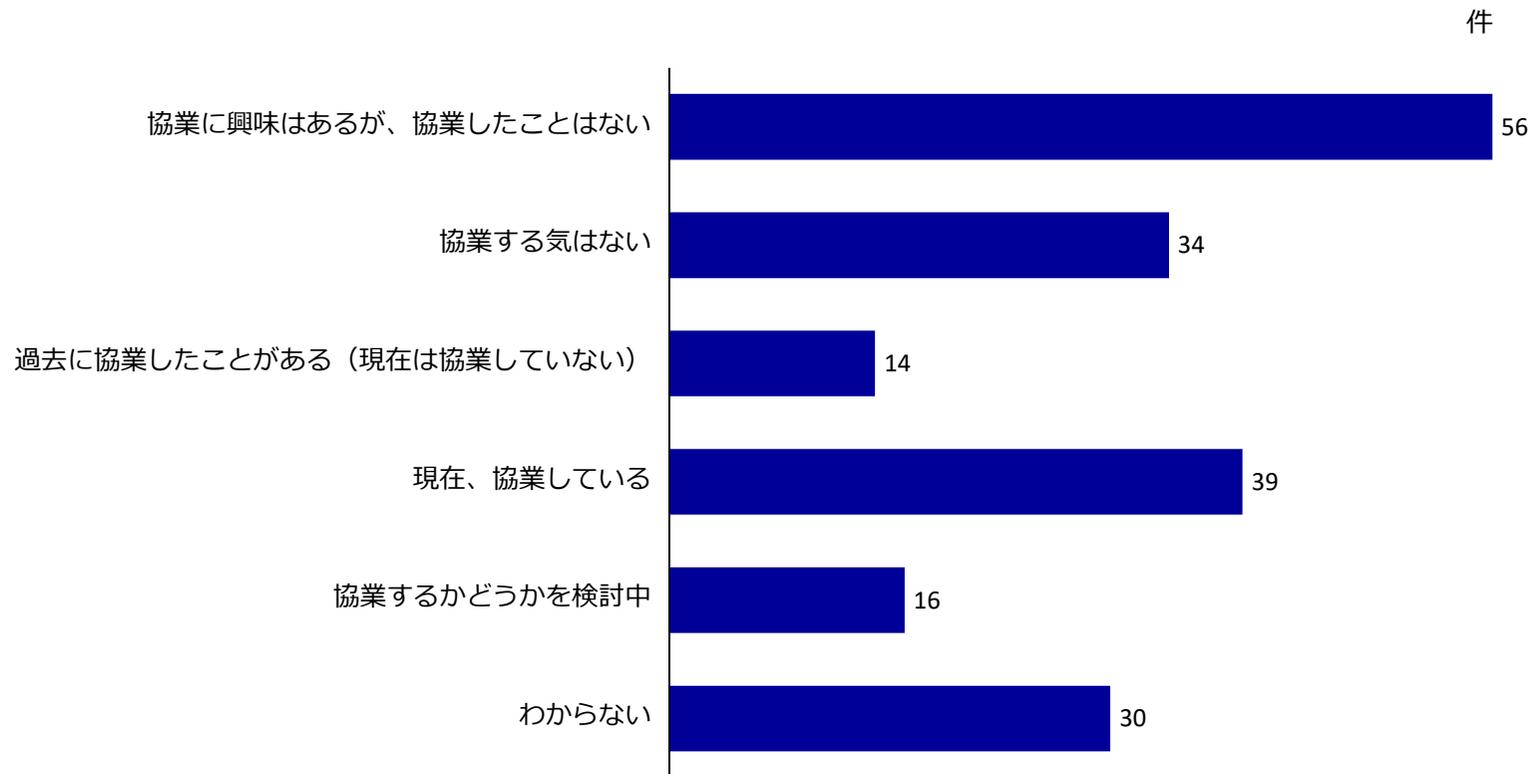


海外から日本



海外協業に興味はあっても、実際のアクションに結び付けられていない企業が多数

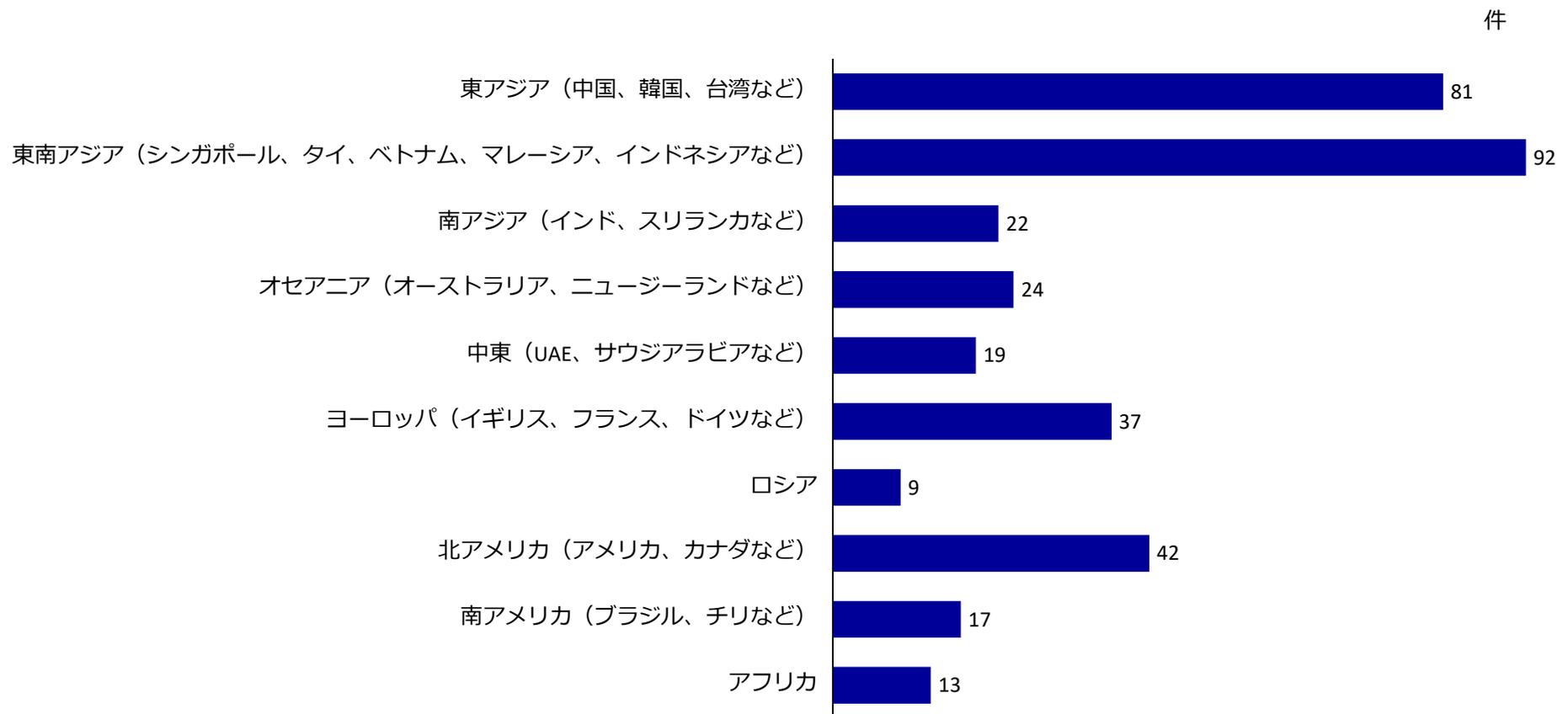
- 次点は、既に海外との協業を実施済という回答
 - わからないという回答も多く、課題となっているポイントを解決していく必要がある
- ### 海外企業との協業の状況



注目度が高いのは東・東南アジア。他の地域の倍以上の結果になっている

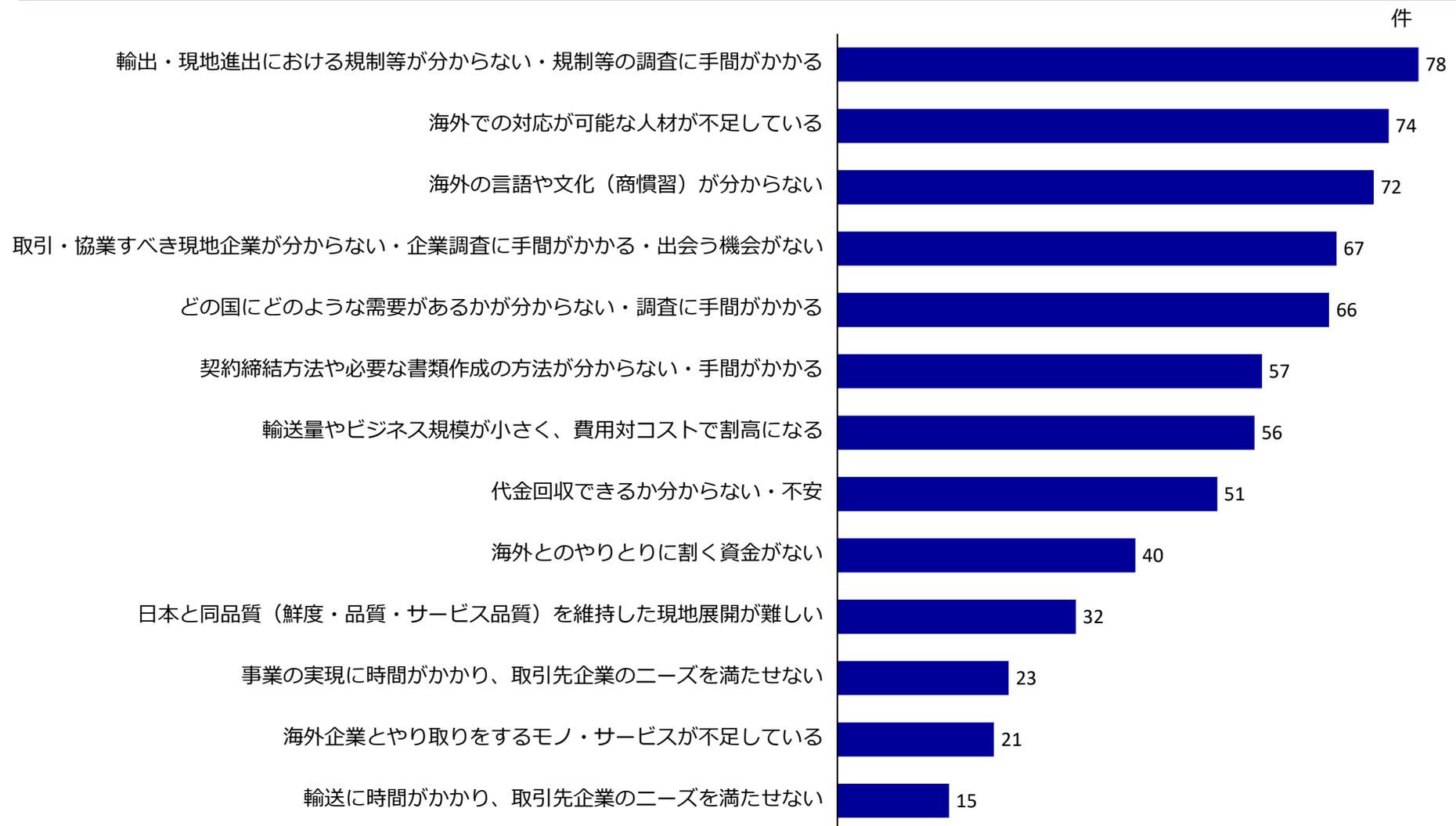
- 次点で注目度が高いのは、欧米（北米及びヨーロッパ）となっている

海外企業との協業について、実施・検討・興味のある国・地域



課題上位に挙がるのは現地の状況（規制・商慣習・パートナー）調査等の情報面

- とはいえ、その他協業にあたっての課題は多岐にわたるため、総合的支援が必要
海外企業と協業するにあたって、課題と感じていること



海外・国内両アンケート結果を受け、4社に対して現地訪問を実施

現地訪問対象

■ マレーシア

- Central Distribution Agency
 - 2/4 マレーシア・クアラルンプールにてMTG
- SoonSoonGroup
 - 2/6 マレーシア・ペナンにてMTG
- Mynews Retail
 - マレーシア・クアラルンプールにてMTG

■ タイ

- T.Thai Snack
 - 2/4 バンコクの先方の工場にてMTG

- サマリー
- 事業の前提・全体像
- 海外現地企業からの投資依頼案件発掘
- 海外現地企業と日本企業とのマッチング
- **現状及び今後の展開**

本事業の成果

本事業を通じて明らかになったこと

今後のマッチング促進の方向性

事業者情報

事業者の海外展開に関する情報



日本



海外協業に興味を持つ
事業者リスト



海外現地



日本との協業に興味を持つ
事業者リスト

興味のある地域

- 東アジア・東南アジアへの興味度合いが非常に高い

海外展開への興味関心

- 興味があっても実現できていない企業が多数

挙げた課題

- 現地情報（規制・事業者・消費者情報）不足が最もポピュラーな課題

具体ニーズ

- 海外展開に向けて実施したい事柄が明確化（実際の海外企業からのオファーへの対応含）

興味のあるテーマ

- 日本の商品/技術に興味を有する企業が存在
- 一方で、日本を魅力的なマーケットとして捉え、日本への輸出・進出の意向を持つ企業もいる

挙げた課題

- 具体的な商談にこぎつけても、障害となる事項（特に言語の問題等）が多く、ビジネス成立までたどり着けない

具体ニーズ

- 日本との協業に向けて実施したい事柄が明確化

具体事業者

- 本事業を通じた日本企業の情報取得・交換を行った事業者も存在

1 継続したマッチング活動

- 本年度の情報収集結果を基に、別機会においてもマッチングを継続して実施することが可能
- また、本年度リソース上カバーが難しかった事業者（AUS/NZ等）については別途フォロー機会を作成

2 具体案件の推進

- 本年度発掘された具体案件3件について、次年度以降も継続フォロー（詳細は次ページ以降にて記載）

3 他組織・事業との連携

- 農林水産省輸出関連部署やJETRO等、海外輸出・展開に関わる組織への連携
- GFPやGFVC事業など、海外輸出・展開に関わる事業との連携
→具体的な事業者ニーズ・情報を提供することで取組を加速

具体案件の推進（詳細は非公開）

【具体案件】

具体案件の推進

【具体案件①】
SoonSoonGroupと日本企業とのマッチング

● [Redacted]

目指す姿

[Redacted]

© 2020 edamame Inc.

具体案件の推進

【具体案件②】
CentralDistributionと日本企業とのマッチング

● [Redacted]

● [Redacted]

目指す姿

[Redacted]

© 2020 edamame Inc.

具体案件の推進

【具体案件③】
T.ThaiSnackFoodsと日本企業とのマッチング

[Redacted]

目指す姿	今後の実施事項
[Redacted]	[Redacted]

© 2020 edamame Inc. 41